

# 平成 23 年度島根大学男女共同参画推進室事業実施報告

## I 男女共同参画推進に向けた意識啓発事業・広報活動

### 1. 意識改革・意識啓発

講演会、セミナー、シンポジウムの開催

#### (1) 講演会・公開講座

①5月20日(金)	島根大学オープン講座「デートDVをなくすために」 松江市男女共同参画センター出前講座と共催 講 師：高橋康子氏、山尾優美氏(デートDV防止ますだ) 参加者：263名
②7月1日(金)	平成23年度学生向けライフデザイン支援講座(島根大学第1回) 「これからわたしたちはどのような時代を生きるのか ～雇用の変化と家族の変化から考える～」 (財)しまね女性センターと共催 公開講座 講 師：大沢真知子氏(日本女子大学人間社会学部教授) 参加者：143名
③7月8日(金)	平成23年度学生向けライフデザイン支援講座(島根大学第2回) 「私の職業選択と仕事の世界～企業における男女共同参画の取組 ～」 キャリアセンター「人と職業」公開講座 講 師：木村伸幸氏(山陰合同銀行人事部人事グループ副調査役) 参加者：16名
④10月28日(金)	平成23年度学生向けライフデザイン支援講座(島根大学第3回) 「雇用破壊と貧困の拡大～社会保障の充実と雇用安定にむけて ～」 (財)しまね女性センターと共催 公開講座 講 師：後藤道夫氏(都留文化大学教授) 参加者：68名
⑤3月14日(水)	平成23年度島根大学男女共同参画推進講演会 「ワークライフバランスを考えた高価値を生み出す働き方 ～60点+60点=120点」 講 師：松繁寿和氏(大阪大学大学院国際公共政策研究科・教授) 参加者：54名

#### (2) シンポジウム等

①6月18日(土)	島根県男女共同参画センター「あすてらす」フェスティバル2011 (ポスター出展)【男女共同参画推進室・WLB支援室取組事業PR】
②10月14日(金) ～16日(日)	日本女性会議2011松江(ポスター出展) 【男女共同参画推進室・WLB支援室取組事業PR】

③11月11日(金)	第3回中国四国地区男女共同参画シンポジウム／岡山大学 (ポスター出展・室長事例紹介) 【男女共同参画推進室・WLB支援室取組事業PR】
④2月25日(日)	松江市男女共同参画センター「プリエール」フェスティバル2012 (ポスター出展)【男女共同参画推進室・WLB支援室取組事業PR】

## 2. 広報活動

Webサイト更新、メールマガジンによる情報発信

- (1) 男女共同参画推進室HPの更新
- (2) さぼっと通信(メールマガジン)の発行・配信
- (3) 「さぼっとカフェ」開催：【国際女性デー 3月8日(木)】 参加者12名
- (4) ポスター、ちらし、パンフレットなどの作成・配付

## 3. 女性研究者採用増加に向けた取組

- (1) 教員採用者数、採用・昇格の手續、決定方法等の分析・検証  
【参考(H22)：①新規採用者における女性研究者比率25.8%②女性研究者比率16.0%】
- (2) 女性教員の在職率・採用率に応じたインセンティブ経費配分の検証
- (3) 「教員採用に係る選考資料」への男女別応募者数の記載義務化、教職員公募要項への「男女共同参画推進の観点から実施している事業支援」の明記
- (4) 応募者を増加させるための広報活動の活性化
  - 大学広報室との連携、大学HPバナーへの掲載、居住環境(地域の魅力等)の積極的PR、新任教員へのアンケート調査実施等

(平成24年2月～3月)「良い教育・研究環境を持つ職場」であることをPRするため、アンケート調査を実施した。

アンケート送付者数：96名  
回 答 者 数：35名(3月22日現在)

## Ⅱ 学生支援事業

### 1. 講座の開講・担当

#### (1) 講座開講

【前期】 毎週(金)7・8限 4月8日(金) ～7月22日(金)	授業(共通教養科目) 「ジェンダー～性を科学する～」開講 履修登録者：298名 単位取得者：252名
---	---

#### (2) 講座担当

①1月18日(木)	授業(キャリア教育科目)「私のキャリアデザイン」特別講座 「男女共同参画とジェンダー」担当(室長) 受講者：53名
②1月24日(火)	生涯学習教育研究センター 「地域づくりー地域教育力の再生」 「男女共同参画社会の推進と地域教育力の再生」担当(室長) 受講者：20名

#### (3) 女子学部生と女子大学院生の交流会

1月23日(月)	※男女共同参画推進室(さぼっと)とキャリアセンター主催で開催 【学生支援センター2階 多目的室】  参加者：計14人 学部生：10人(生物資源科学部7・総合理工学部2・法文学部1) 院 生：4人(生物資源科学部1・教育学部3) 参加者は2グループに分かれ、学部生は大学院生から院合格までの準備や大学院で研究することへの思い等質問を交えて聞ける良い機会となった。 (アンケート抜粋) ・ 学部生と大学院生が研究科や学部を越えて、気軽に交流しながら話す場がないので、交流会はとても良い。 ・ また参加したい(78.6%)
----------	---

### Ⅲ ワークライフバランス(仕事と生活の調和)推進事業

#### 1. 「次世代育成支援対策推進法」に基づく、「国立大学法人島根大学次世代育成支援事業主行動計画」(平成22年～24年9月)の周知と推進

##### (1) 両立支援関連制度の周知による、活用しやすい環境の整備

産前産後休暇、育児休業や育児部分休業、短時間勤務制度をパンフレット、HPで周知するとともに、男性の育児休業取得者執筆のエッセイ「育児するお父さんへのエール」のメールマガジンへの掲載等により、男性職員の育児休業の積極的取得を促した。

##### (2) ワークライフバランスに関する意識啓発

【再掲】 3月14日(水)	平成23年度島根大学男女共同参画推進講演会 「ワークライフバランスを考えた高価値を生み出す働き方 ～60点+60点=120点」 講師：松繁寿和氏(大阪大学大学院国際公共政策研究科・教授) 参加者：54名
------------------	---

##### (3) 時間外勤務の縮減及び休暇の取得促進に向けた取組

- ① 「定時退勤日」及び「定時退勤週間」の設定。メール等による周知。
- ② ゴールデンウィーク、夏季、年末年始休暇の促進を図るため、当該期間における会議等の自粛。
- ③ 年次有給休暇等使用計画表の作成を通じた年次有給休暇の取得促進(平均して1人当たり、年次有給休暇の取得日数を前年度比プラス1日増を目標とする)。

#### 2. 全学的両立支援システムの構築

##### (1) 研究支援員配置制度【JST事業継続】

育児や介護などの家庭責任により、あるいは家族と離れて生活し、二世帯を維持しているなどの理由により研究時間の確保が困難な研究者に対して、大学が雇用した研究支援員を配置して研究の補助業務を行う。

募集期間：H23/8/25～H23/9/20  
実施期間：H23/10/17～H24/3/21  
申込人数：13名  
支援員配置：4名  
利用上限：利用者1人につき、18H/月

##### (2) 派遣型病後児保育サポートシステム【JST事業継続】

子どもが病気や怪我の回復期で保育園、幼稚園、小学校に通うことが出来ない時に、看護師または保育士資格をもつ「病後児保育サポーター」が保護者の自宅又は病後児保育サポーターの自宅で保育を提供する制度。

登録者数：11名 利用実績：1名 利用日：H23/6/7(火)、H23/6/8(水)、H23/6/22(水)、H23/7/12(火) 利用者計：4回
---

(3) 両立支援のためのPC端末等貸与制度【JST事業継続】

大学の自席パソコンと同じ環境で利用できるソフトを搭載したモバイルノートPCを貸与し、大学外(自宅や別世帯)からでも、研究データの整理や図書館にアクセスして論文検索するなどの研究活動を可能にする制度。
---

利用者数：4名(前年度から継続) 新規申込：1名 利用者計：5名
--